

# 平成 21 年度 学力調査の結果について

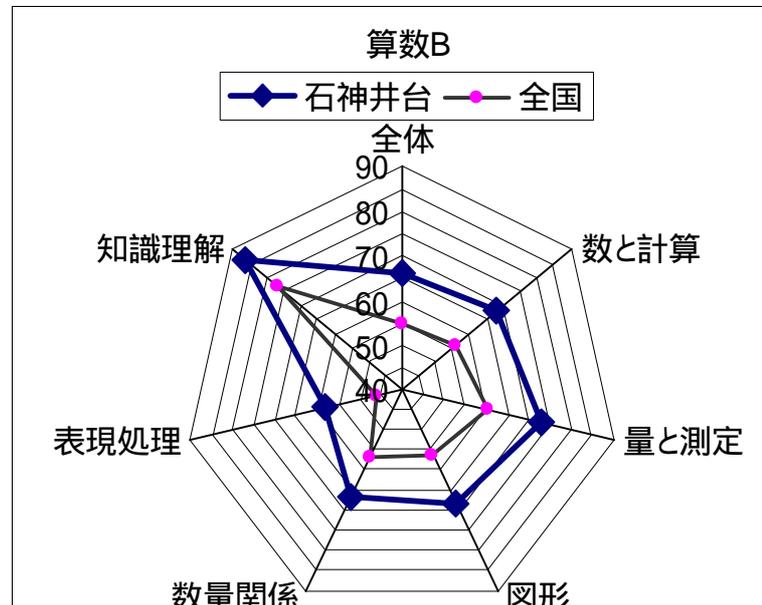
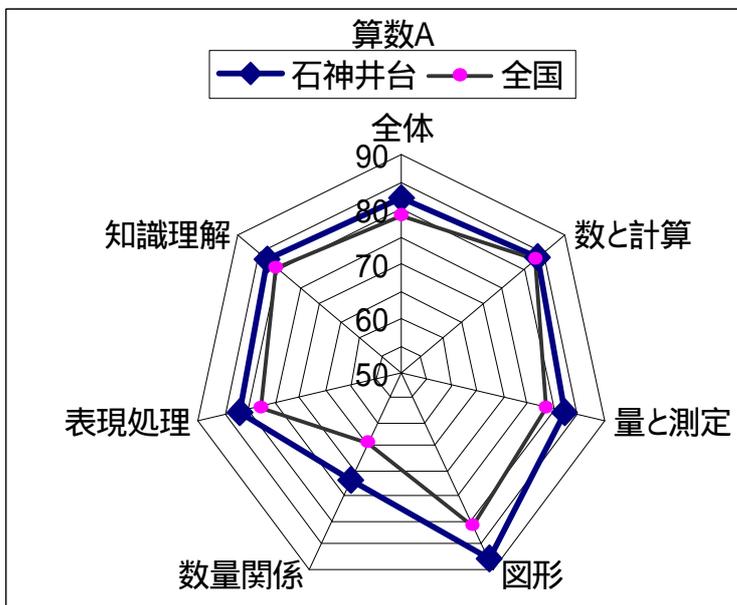
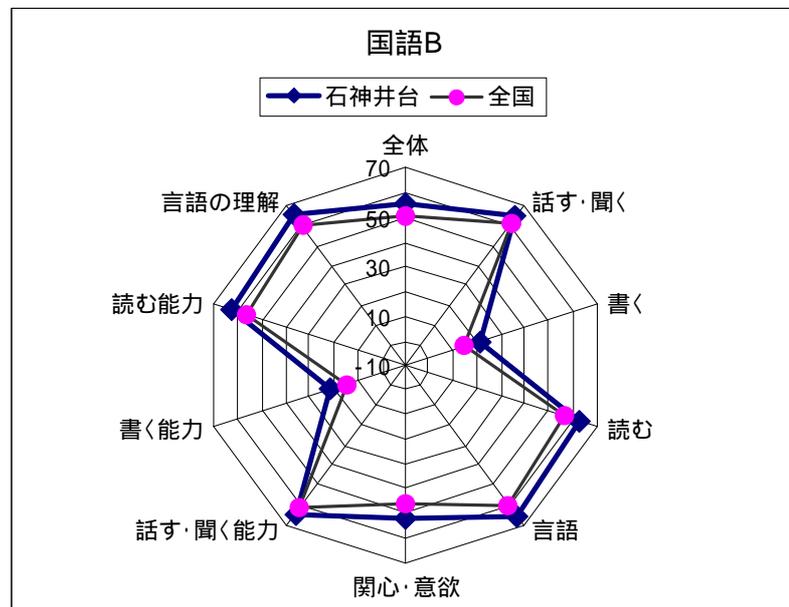
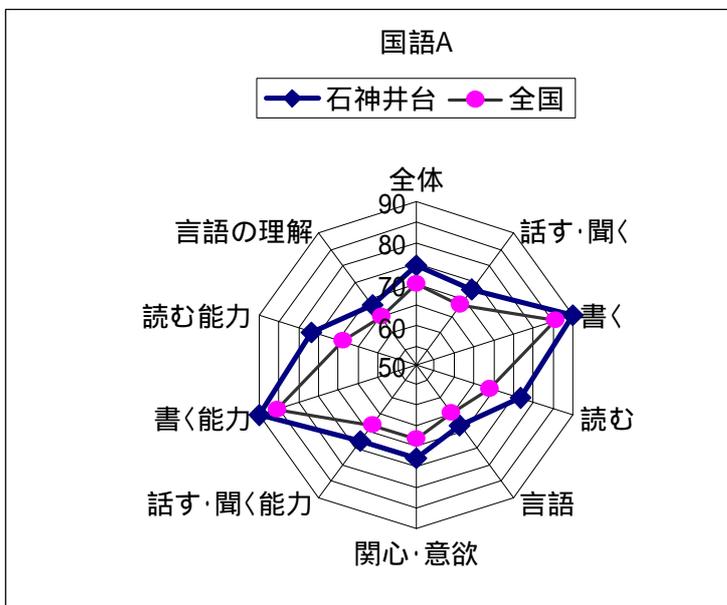
今年度 4 月 17 日に 6 年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施され、その結果が返却されてきました。

本校の状況を、ご報告しますとともに、結果からの考察と今後の学習における手立てをお知らせいたします。

## 1 全国学力・学習状況調査の結果

A 問題は、身に付けておかなければ後の学年で影響をおよぼすと考えられる内容等の知識や技能を中心とした問題です。

B 問題は、知識・技能を様々な場面に活用する力や問題解決のため実践や評価・改善する力に関わる問題です。



## 2 考察

本校の結果は、どちらの教科も全国平均に比べ、概ね良好である。知識・理解の基本的な学習については、満足できる結果である。そうした力を基に活用する力がやや不十分であると言える。

(国語) 概ね良好である。特に「書く」能力は高い正答率である。しかし、書く事柄を整理し、事象と意見を関係づけながら書く力については、今後の課題である。

「読む能力」では、平均を上回っている。今後も自分の思いや考えを表現する学習を積み重ね、自分の考えを明確にして話し合う「話す・聞く」能力の向上を目指すことが必要である。

(算数) 基本的な四則計算の正答率は満足できるが、少数の除法や混合計算についての力を高めることが必要である。

また、問題文から情報を整理し、筋道を立てて考える力の正答率が低い。さまざまな見方や解決方法を考えるなど数学的な考え方や論理的思考力を付けることが課題である。

## 3 授業改善の手立て

新学習指導要領では、「生きる力」をはぐくむという理念が重要とされている。知識・理解の習得だけでなく、思考力・判断力・表現力の育成が必要であるとされている。国語では、具体的な言語活動を充実させることや、算数では、学年や発達に応じた反復による指導を充実させていく。

- (国語)・音読指導、教科書の本文の写し書き等を継続して取り組む。
- ・辞書の充実を図り、新出漢字、語句や言葉の意味調べなど丁寧に取り組む。
  - ・図書室の整備を行い、読み聞かせ・10分間読書等に取り組む。
  - ・話す際には、メモを活用させる。
  - ・話形指導を行い、安心して話せる環境づくりをする。
- (算数)
- ・毎時間のねらいを1時間の始めに確認することで、見通しをもって授業に取り組ませ、授業の終わりには、自己評価を行うことで次時のねらいをもたせる。
  - ・ドリル・プリントを用いて、反復練習を行う。
  - ・少人数学習を生かして、個々のニーズに対応できるよう教材の開発に取り組む。
  - ・文章問題を作成することによって、論理的な思考力を高める。